

新しい知の探求



文学部

HIROSHIMA UNIVERSITY
2024 - 2025





文学部への招待



文学部長

安嶋 紀昭

文学部ならではの学問へのいざない

人と人の触れ合いが文化を育むのだとすれば、文学部における諸分野はその触れ合いそのもの、いわば「人間」を分析する学問と言えるでしょう。0と1だけでは尽くせない世の中であって、言葉を基とする文学・語学・思想・歴史はもちろん、環境や遺物等も含めた有形・無形の人の営みについて、文献やフィールドワークを通して資料を集め、その行間を読み解き、意義を考える。皆さんの生涯にわたって糧となる、その力を醸成するのが文学部です。

皆さんが広島大学に入学なさったら、私たちは皆さんを単なる学生としてではなく、一緒に文学部の学問を志す仲間としても大切にしたいと思っています。皆さんに対する教育の内容は、学界の誰かが言っていることの受け売りではなく、教員各自が自ら調べ、自ら考えるという日々の研鑽を集積した結晶です。そして、文学部の教員の学問に対する旺盛な情熱と、謙虚かつ真摯な態度もまた、皆さんに対する熱いメッセージに他なりません。大学という最高学府での学問とはいかなるものか、皆さんには私たちの背中を見てこそ知ってもらいたいのです。

さて、文学部は6コース16専門分野から構成されています。中には高校時代にめぐり逢うことのできなかった分野も含まれていますから、1年次に開講される入門科目をいくつも受講して、興味の輪を拡げてみましょう。新しい発想は、多様な知識の量と好奇心の大きさから生まれる、といっても過言ではありません。そうして、原則として2年次に進級する際にいずれかの専門分野を選択し、3年次が終わる頃までに、その分野の専門的知識や技能を、講義・演習・実習といった授業を介して着実に涵養していきます。

授業には、皆さんが主体的に関わる要素がたくさん含まれています。講義科目でも質問は大歓迎ですし、演習は皆さんが調べたことを発表したり、熱い討論を交わしたりする場です。実習には、現地でのフィールドワークを取り入れている分野もあります。学問の過程で皆さんは、「それは本当か」という疑問の壁に何度も突き当たることでしょう。大学は学び習うところではなく、問うことを学ぶ場所です。自分で情報を収集し、自分の頭脳で考える。皆さんの研鑽を荒れ狂う大海原での航海にたとえるならば、私たち文学部の教員は、最良の羅針盤となることを宣言します。そして、舵を操るのは、あなたです。

皆さんは4年次で、文学部での学問の集大成として、卒業論文執筆に取り組むことになります。時には書けない苛立ちに苦しみつつも、しかし皆さんの先輩たちがそうであったように、ついにはあなた独自の論説を立ち上げるのです。その間、就職活動や公務員試験の準備など、しなければならない事柄にも迫られますが、自分で選んだ論文のテーマはいつも頭の隅を占めていますから、書き上げた時の震えるような感動もまた皆さんのものです。それをさらに深く探究し、もっと高みに達したくて、大学院に進学する先輩たちもたくさんいます。研究テーマは、尽きることがありません。皆さん、広島大学文学部で、私たちとともに、あなた自身の才能を磨き上げようではありませんか。私たちは、皆さんの熱い問いかけを待っているのです。

コース(主専攻プログラム)紹介

≫ 哲学・思想文化学コース

現代社会の急激な変化は、伝統的な価値観を動揺させ、人々に不安と混迷をもたらしています。現代に錯綜する多様な価値観は、世界観・人間観・生命観・社会観・自然観等の視点から問い直されなければなりません。本コースでは、西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学、中国思想文化学それぞれの文献学的方法を踏まえて各思想文化を深く理解していくとともに、応用哲学の実践的・横断的な研究を通じて、人間存在の普遍的な問題、現代社会の新たな問題を考察していきます。



≫ 歴史学コース

世界を揺るがす民族問題や環境問題が示すように、現在では一国の単位や従来の研究の枠組みにとらわれない学問の推進が求められています。本コースでは、日本を含む世界各地の歴史的な個性とともに、これらの地域・国を世界的関連性のもとで捉えることを重視し、総合的・多面的に歴史の実証的追究を行います。このため、伝統的な文献史料の分析に加えて、フィールドワークやコンピュータを利用した教育研究を行います。



≫ 地理学・考古学・文化財学コース

本コースでは、地球表面上に展開する多様な地表圏文化（景観、集落、遺跡・遺物、文化財）を、地形・気候などの自然地理環境や社会経済環境と有機的に関連付けて、学際的・総合的に把握することを目指します。そのための方法として、地域調査や地形調査、遺跡発掘や考古資料分析、文化財の調査や保存修復といったフィールドワークを重視します。さらに今日、世界的課題となっている文化遺産や自然遺産の保護、地球環境問題などにも対応できる教育と研究を行います。



≫ 日本・中国文学語学コース

本コースでは、つねに密接な関わりあいを持ち続けてきた日本と中国の文化事象を研究対象とします。日本においては千数百年、中国においては数千年におよぶ長い歴史の中で生み出された多様な文化遺産のうち、主に記述された言語資料を取り上げて、文学・語学の視座から精密に読み解き、深い考察を加えます。また、両者を総体として大きな視座で捉え直すことで、東アジア文化のアイデンティティの解明とその確立に貢献することを目指します。



≫ 欧米文学語学・言語学コース

本コースでは、英米文学語学、ドイツ文学語学、フランス文学語学、言語学を研究します。21世紀に相応しい文化多元主義の観点から、英語、ドイツ語、フランス語、日本語を含む諸言語の歴史的研究、記述および理論的研究を推進するだけでなく、主として欧米の言語を駆使して創造された文学を、文芸理論、言語理論、文献学的手法を援用して研究します。こうした教育や研究を実践しながら、言語と文化の関係を世界的な観点から志向することのできる国際性豊かな人材の育成を目指します。



≫ Humanities in English コース

2021年4月に新設された本コースの目的は、「英語を学ぶ」ではなく「英語で学ぶ」です。教養課程から専門課程まで原則として英語で開講される授業を受講し、卒業論文も英語で書きます。卒業論文のテーマは自由です。人文学の深い知識と高度な英語能力を備え、国際社会のあらゆる分野で活躍できる人材を養成します。定員数は若干名で、本コースに入る条件としてあらかじめTOEIC等の英語技能検定試験で定められた点数以上のスコアを取っておく必要があります。

教員スタッフ

哲学・思想文化学 コース

このコースでは、東洋や西洋の古代から現在までに至る哲学・思想を、宇宙観、人間観、自然観などを含めて幅広く学習することができます。人間と社会のさまざまな価値観、生き方を、自らの経験と対応させて考えることは、混沌とした現代の社会を捉え、新しい時代を展望する手がかりを与えてくれるはずです。

〈専門分野〉氏名	職名	研究領域
〈西洋哲学分野〉		
後藤 弘志	教授	近現代ドイツ哲学
赤井 清晃	准教授	西洋古代・中世哲学研究
碓 智樹	准教授	ヘーゲル及びドイツ観念論研究、西洋近代哲学研究
〈インド哲学・仏教学分野〉		
根本 裕史	教授	インド・チベット仏教思想文化研究
川村 悠人	准教授	サンスクリット言語理論、サンスクリット文学、インド哲学
〈倫理学分野〉		
衛藤 吉則	教授	シュタイナー思想、教育倫理学、近代日本思想
後藤 雄太	准教授	ニーチェ、ハイデガー、生命倫理学、情報倫理学
岡本 慎平	助教	19世紀イギリス哲学、ロボット倫理学、現代倫理学理論（主にメタ倫理学）
〈中国思想文化学分野〉		
有馬 卓也	教授	中国古代思想文化研究、近世・近代日本漢学研究
末永 高康	教授	中国古代思想文化研究

歴史学コース

このコースでは、ナショナルな枠組みを超え、グローバルな視点で世界各地の古代から現代までの歴史の展開過程を学ぶことができます。過去の人びとの生きた時代の構造を考え、よりよい時代を創造していった人々の営みにふれることは、現代の社会を直視して、新しい時代を展望する手がかりを与えてくれるはずです。

〈専門分野〉氏名	職名	研究領域
〈日本史学分野〉		
奈良 勝司	教授	19世紀朱子学、明治維新論、近代日本の自我認識と世界観
本多 博之	教授	中世日本の政治・社会経済・文化の研究
殷 暁星	助教	江戸時代の対外交流と教育・文化・思想
〈東洋史学分野〉		
金子 肇	教授	近代中国の行財政史および憲政史の研究
上田 新也	准教授	近世ベトナムの村落史、制度史
船田 善之	准教授	モンゴル帝国の政治・制度・社会・文化・言語とその多様性の研究
〈西洋史学分野〉		
井内 太郎	教授	近代イギリスの政治と社会に関する研究
前野 弘志	教授	古代地中海世界史・碑文学の研究
藤原 翔太	准教授	フランス革命・ナポレオン時代の地方政治研究

地理学・考古学・ 文化財学コース

このコースでは、フィールドワーク、コンピュータによる情報処理などの手法により、この地表上に展開してきた人びとの過去の生活の営み、文化遺産、都市農村などの地域の仕組み、自然環境などについて広く深く学ぶことができます。地域を総合的に、歴史的に捉えることは、地球環境時代にふさわしい地域のあり方を見出す手がかりを与えてくれるはずです。

〈専門分野〉氏名	職名	研究領域
〈地理学分野〉		
後藤 秀昭	教授	地形の成り立ちや活断層の研究、地理情報システムを用いた研究
友澤 和夫	教授	知識経済化と産業立地の研究、インド工業化の研究
後藤 拓也	准教授	アグリビジネスの地理学的研究、インドの農業地域研究
〈考古学分野〉		
野島 永	教授	弥生時代の研究、古代鉄器文化の研究
有松 唯	准教授	西アジア古代文明の成り立ち、人類史における鉄の起源
〈文化財学分野〉		
安嶋 紀昭	教授	日本・東洋美術（絵画・彫刻・書蹟等）の調査・研究
伊藤 奈保子	准教授	古代インドネシアの宗教美術の研究、日本工芸史の研究
中村 泰朗	助教	日本建築史、住宅・城郭・社寺建築に関する研究

日本・中国文学 語学コース

このコースでは、日本語と日本文学、中国語と中国文学、および両者の関わりについて、東アジア文化圏の語学文学の視点から、広く深く学ぶことができます。相互に関わりの強い日本・中国双方の文化を総体として捉えることは、世界に開かれた東アジア文化のアイデンティティを解明し、確立する手がかりを与えてくれるはずです。

〈専門分野〉氏名	職名	研究領域
〈日本文学語学分野〉		
有元 伸子	教授	日本近現代文学研究, ジェンダー批評
久保田 啓一	教授	近世和歌, 江戸文壇の研究
下岡 友加	教授	日本近代文学, 日本語文学, ポストコロニアル批評
白井 純	教授	日本語史, キリシタン版, 近世後期藩校蔵書の研究
小川 陽子	准教授	中古中世日本文学, 作り物語の生成と受容
〈中国文学語学分野〉		
小川 恒男	教授	六朝楽府, 清末民初の語学文学研究
川島 優子	教授	『金瓶梅』を中心とした明清白話小説の研究
陳 翀	教授	中国中世文学, 東アジア漢籍交流史

欧米文学語学・ 言語学コース

このコースでは、英語、ドイツ語、フランス語などの豊かな語学力を培い、文学的センスを磨くことができます。また、特定の言語に捉われることなく、言語一般および文学に関する原理や理論を学ぶこともできます。欧米の文学や言語を中心として、世界の言語・文化について学び、認識を深めることは、国際的に活躍する足がかりを与えてくれるはずです。

〈専門分野〉氏名	職名	研究領域
〈英米文学語学分野〉		
今林 修	教授	18・19世紀英国小説における言語・文体研究
大地 真介	教授	19・20世紀アメリカ文学およびアメリカ南部文学
大野 英志	教授	14世紀後期イギリス文学の言語, 英語の歴史
吉中 孝志	教授	シェイクスピアを含む16・17世紀イギリス戯曲文学
倉田 賢一	准教授	イギリス近現代小説・批評理論
松永 京子	准教授	現代アメリカ文学, 北米先住民文学, 核・原爆文学, 環境文学
松本 舞	助教	詩文学, 猫と文学, 文学と音楽
〈ドイツ文学語学分野〉		
小林 英起子	教授	18世紀ドイツの演劇と文学, ドイツ近代文学
今道 晴彦	准教授	ドイツ語コーパス研究
古川 昌文	助教	現代ドイツ文学, カフカ研究
〈フランス文学語学分野〉		
宮川 朗子	教授	フランス語圏大衆小説
Sécardin, Olivier	准教授	18世紀・19世紀・20世紀フランス文学, 比較文学, 批評理論, 異文化間研究
Lorrillard, Olivier	准教授	古典文学, フランス語の教授法
〈言語学分野〉		
上野 貴史	教授	ロマンス語・英語・日本語を中心とした統語論研究, 歴史言語学
尾園 絢一	准教授	印欧語比較言語学, 古インドアーリヤ語(サンスクリット)研究

大学院課程 比較日本文学

氏名	職名	研究領域
高永 茂	教授	日本語学, 語用論, 方言学
中村 平	教授	日本学, 人類学, 日本植民主義, 台湾先住民, 歴史経験
溝淵 園子	教授	日露比較文学, 翻訳文学
太田 亨	准教授	日本中世禅林の文学, 漢文教育
劉 金鵬	助教	戦後日本史, 戦後日本知識人のアジア論

文学部で学ぶ

● 到達目標型の教育プログラム

広島大学文学部には、哲学・思想文化学，歴史，地理学・考古学・文化財学，日本・中国文学語学，欧米文学語学・言語学，Humanities in English 環き 島 & 国

文学部の 1 年

学生生活

以下の制度は、大学全体を対象とした支援の一例です。詳細は、広島大学ホームページに掲載されています。

→「高校生・受験生の方 学生情報の森 もみじ」→「学びのサポート」または「学生生活のサポート」

高等教育修学支援新制度

世帯の所得に基づく区分や通学区分、学業成績に応じて入学料・授業料の減免及び給付奨学金を受けることができる制度です。

奨学金（日本学生支援機構・民間・地方公共団体）

学業成績が優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学に困難があると認められる者については、選考のうえ、奨学金を貸与又は給付する制度があります。

広島大学フェニックス奨学制度

学力が優秀でありながら経済的理由により大学進学が困難な者を支援するための、新入生 10 人程度を対象とした本学独自の奨学制度です。

広島大学光り輝く奨学制度

人物及び学力が優秀でありながら経済的に困窮している学生を支援するための、在学生を対象とした本学独自の奨学制度です。2 年次 1 月に募集があります。

学生の海外留学・研修を積極的に奨励し支援するための様々なプログラムが提供されています。以下に挙げるプログラム以外にも国際交流の機会がたくさん準備してありますので、ぜひトライしてみてください。

START プログラム

新入生を対象に東南アジア・アメリカ・オーストラリア等の国に約 2 週間訪問し、異文化・環境を体験する機会を提供します。学生の経済的負担を軽減するため、参加費用の大部分を大学が補助します。また、2020 年度後期からはオンライン国際教育として「e-START/e-START+ プログラム」を実施しています。

語学・文化研修プログラム

夏季休業中の 3 ~ 4 週間、オーストラリア・スイス・ドイツ・中国等の大学で、その国の語学・文化を学び、外国の学生との交流も行います。文学部では、研修時間数に応じて 4 単位まで単位を認定しています。

HUSA 交換留学プログラム

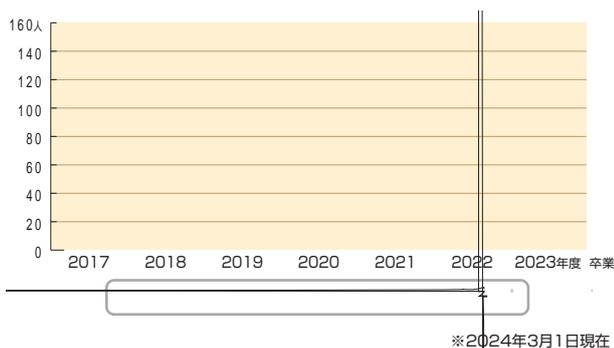
学術交流協定を結ぶ海外の大学に概ね 1 年間または 1 学期間留学し、現地の学生と交流し、学業を履修し、留

進路・就職

文学部卒業生の進路は、民間企業への就職がもっとも多く、文学部らしくマスコミ・出版社から、銀行・小売業・メーカーまで多岐に渡っています。

教員になる者はかつてほど多くありませんが、広島大学の伝統を引き継ぎ、社会から高い評価を得ています。

大学院進学者が多いのも文学部の特長です。



文学部では、大学全体の就職支援体制とは別に、独自に「就学相談室」を設置しています。ここでは、専門の相談員が、進路選択・就職活動準備・面接試験対策などの相談に限らず、学業や研究の悩み・人間関係など、大学生活に関するあらゆる相談を受け付け、個々の学生へのきめ細かなサポートを行っています。面談は対面やオンラインで実施しています。また、就職支援の講座(リテラアワー)を概ね月に1回、対面やライブ配信、動画配信で行っています。進路選択や就活へのアドバイス、自己分析や面接対策などの講座もあり、受講者から好評です。

詳細は下記にお問い合わせください。

広島大学文学部支援室 (学生支援担当)

〒731-8585 広島県広島市鏡山

☎ **082-424-6613**

✉ litera@ff.uhiro.ac.jp

🌐 www.litera.uhiro.ac.jp